事例No.	190
公表年度	H29
団体の属性	中核市
団体名	広島県呉市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・歳入確保 ・（公営企業）その他

事例種類	その他

事例内容・タイトル

累積収支不足の解消に向けた使用料改定

出典

経営戦略策定ガイドライン（下水道事業・先進的取組事例集）

1. 使用料改定

事例4

○ 事例名等

事例名	累積収支不足の解消に向けた使用料改定
団体名	広島県 呉市
事業名	公共(法適)・特環(法適)・農集(非適)・漁集(非適)

○ 人口・面積・密度

規模データ	人口 人	面積 ha	密度 人/ha
行政区域内	234,613	35,280	6.7
処理区域内(公共)	196,013	3,534	55.5
処理区域内(特環)	6,467	300	21.6
処理区域内(農集)	3,030	70	43.3
処理区域内(漁集)	1,892	58	32.6

1. 背景等

①取組の背景(きっかけ)

平成26年度から平成30年度までの5年間で累積収支不足額が約14.2億円発生する見込が出たことから，それを解消するために下水道使用料を9.8%値上げすることにした。

改定日：平成26年10月1日

平均改定率	
水道料金	下水道使用料
10.7%	9.8%

平均改定率の算定

水道事業		下水道事業
2,009 / 18,763 =	累積収支不足額 / 算定期間料金・使用料収入 =	1,421 / 14,569

2. 内容、効果額等

①改定内容

(改定前)
・使用料体系表

1～8㎥	0 円
～20㎥	160 円
～30㎥	200 円
～50㎥	235 円
～100㎥	255 円
～200㎥	270 円
～500㎥	280 円
～1000㎥	290 円
1001㎥～	300 円

改定率 9.8%

(改定後)
・使用料体系表

1～10㎥	15 円
～20㎥	200 円
～30㎥	220 円
～50㎥	260 円
～100㎥	290 円
～500㎥	310 円
501㎥～	330 円

・一般家庭用使用料(月20㎥あたり)
2,895円 ／月

・一般家庭用使用料(月20㎥あたり)
3,220円 ／月

②効果額

(改定前)
・使用料収入(平成25年度)
約35.6億円

平成26年度の料金改定影響期間は3.5か月分のみ。通年ベースの影響額は約3.3億円

(改定後)
・使用料収入(平成26年度)
36.6億円

(参考)
・改定前の使用料で算定した場合の使用料収入
約35.6億円

3. 検討過程等

①スケジュール

平成25年10月	平成26年度～平成30年度の財政収支計画策定
平成26年1月	呉市上下水道ビジョン前期経営計画策定
平成26年3月	下水道条例改正案(使用料改定)の可決
平成26年10月	使用料改定実施

3．検討過程等（つづき）

②自治体外部の有識者の活用
　　呉市上下水道事業経営審議会への諮問・答申

③住民・議会への説明
　　・条例改正の前に，議会への行政報告2回
　　（使用料体系の在り方について・使用料制度の改定素案について）
　　・周知期間を十分確保するため，使用料改定日から半年前に条例改正案を提出
　　・住民等へ使用料改定のお知らせに係るリーフレット及び広報紙の各戸配布
　　・自治会連合会等各種関係団体への説明会の関係

4．今後の課題・考慮すべき点

【原価への資産維持費の算入について】
　今回の使用料改定は，向こう5年間の収益的収支の累積欠損金を解消するためのものであったが，実際には企業債償還金の増加による資本的収支の悪化も見込まれ，それを解消するための財源（減債積立金）を確保するために必要な計画黒字額を改定率に盛り込むことが出来なかった。
「赤字だから値上げします」に留まり，「借金が返せるだけの黒字額が必要」は市民になかなか理解してもらえないためであったが，次回の改定では改定率に盛り込まなければならないと考える。